

熊本大学海外派遣留学生 報告書

(協定校サマープログラム／語学セミナー)

氏名	A さん		
所属	____ 教育 ____ 学部・大学院 ____ 特別支援 ____ 学科・専攻		
留学先機関名	Massey University (国名 : New Zealand)		
参加プログラム 区分	☐ 協定校サマープログラム ☒ 語学セミナー ☐ その他 :		
留学期間	2023 年 3 月 3 日 - 2023 年 3 月 25 日	留学開始 時学年	2__ 年次
奨学金 (奨学金を受給 した場合)	☐ 奨学金受給無し ☐ JASSO 海外留学支援制度 ☒ 国際奨学事業 ☐ トビタテ！留学 JAPAN 【第 ____ 期】 ☐ その他 (_____)		



1. 出発前の準備について

ビザの申請	☐ 有 ☒ 無 種類()	ビザ申請先	☐ 国内 ☐ 現地 場所()
留学に向けて 取り組んだ語学	☒ 英語 ☐ 独語 ☐ 仏語 ☐ 中国語 ☐ 韓国語 ☐ その他 () 語)		
勉強方法	熊大の留学生に話しかける 英語資格の勉強		
必要経費 (留学に必要な 支払い費用) ※概算費用 (おおよ その費用)	☐ プログラム費用 620,000 円 ☐ 宿泊費用 (寮／ホームステイ等) 円 ☐ ビザ申請 円 ☐ 渡航費 (☐ 片道 ☒ 往復) 円 ☐ 海外旅行保険料 円 ☐ 食費 円 ☐ その他 () 円		

2. 渡航～到着後の生活について

利用航空会社	ツアーバンク	手配	熊本大学 ※利用したサイト、旅行会社等
移動経路 ※往路のみ	熊本→福岡→東京→オー ランド→パーマストンノ ース	到着 時刻	13時 【※移動時間 (約 30時間)】
大学 (寮) への 移動手段	☐ 大学手配の出迎え ☐ 知人の出迎え ☐ タクシー ☒ 公共交通機関 (☒ バス ☐ 電車) ☐ その他 ()		
空港から移動する 際の注意点 行き方、料金等	ホストファミリーが迎えに来てくれるから安心		
宿泊先	☐ 寮 ☒ ホームステイ その他 ()	宿泊 手配	☒ 大学の斡旋 ☐ 自分で その他 ()
部屋の種類	☒ 一人部屋 ☐ 二人部屋 その他 ()	ルーム メイト	☐ 日本人学生 ☐ 他国からの学生 その他 ()
その他生活に必要な 手続き、アドバイス (口座開設、保険、 携帯電話、荷物、 支払い方法など)	クレジットカードが楽でした。SIM カードを使った方が現地でしか使えない電子スクーターなどの便利なアプリが使えるからおすすめです。		

3. 留学先の大学について

プログラムの概要について（授業・フィールドワーク内容、スケジュール等）	午前中は大学の教室で、ゲーム形式の英語の勉強をしたり、大学内を探検したりしました。午後は遠くの場所の観光やプレゼンテーションの準備をしました。
留学先大学でのサポート体制について（語学面／学校生活／住居・日常生活等）	ホストファミリーがとても親切でいい方だったので、三食作っていただき、生活に困ることはありませんでした。学校生活で困ったことがあっても、担任の先生のような方がいるので、すぐに尋ねることができました。
留学開始後に行った留学先大学の手続き（学生証、履修登録、大学 ID の設定等）	登校の初日に学生証やバスカードが配られます。
休日や余暇の過ごし方（観光、現地学生との交流等） ※どうやって探したか、きっかけなども具体的に	休日は、学校の予定してくれていた観光以外は、ホストファミリーの方にこんな場所に行ってみたいと話していたら、計画を立てて連れていってくれました。また、いつも利用するバスのターミナルの近くでたまたま一年に一回の祭りがあったので参加しました。そして、一緒にセミナーの人のホストファミリーのパーティーに参加したりして現地の人との交流をしました。

4. 留学成果とアドバイス

留学によって得られた成果（語学に関すること、ものの考え方や取り組み方、コミュニケーション能力など自由に記載してください）

留学では、とにかく積極的に話そうとすることが大事だと思いました。ホストファミリーや授業中はもちろん、バスやランチの時のちょっとした機会でも話しかけてみるのがよかったです。パーマストンノースには話しかけて嫌な顔をする人はいませんでした。みんな笑顔で他人同士でも気さくに挨拶や感謝の言葉交わしています。他人に無関心になったり、必要以上に恐れたりすることなく声を掛け合う文化にととても感銘を受けました。ニュージーランドの人々にはパッションを感じました。

同じプログラムへ参加を希望する人へのアドバイス（留学先大学、プログラムに関すること、生活全般に関することなど自由に記載してください）

基本的にあまり心配することはないと思います。自分は SIM カードを使わず、グローバル Wi-Fi を利用したため、現地の電動スクーターのアプリを使用できなかったことや、連絡先を交換するときに向こうで使用されている SNS を利用できなかったことが残念でした。あと、現地で遠出する時には早めに現地の大学の先生に相談することがおすすめです。また、ホストファミリーに日本食を作ってあげるとすごく喜ばれます。

留学を通しての感想

初めは英語力をのばすための語学研修というつもりで参加しましたが、最後は心の持ち方を学ぶことができました。心を開いて、他人にも気さくに接することで、自然と色々な人とつながることができ、会話も増えるので、英語力も伸びました。ほんとうにニュージーランドの人は周りや相手をよく見て気遣っていながら、自分のやりたいことを楽しんで生活していると思いました。自分もニュージーランドで人から受けた親切や楽しむ心を忘れないように日本で生活していこうと思います。

そして、ホストファミリーは一生忘れない大事な繋がりになりました。

氏名	B さん		
所属	法学部・法学科		
留学先機関名	マッセー大学（国名：ニュージーランド）		
参加プログラム 区分	☐ 協定校サマープログラム ☒ 語学セミナー ☐ その他：		
留学期間	2023 年 3 月 3 日－ 2023 年 3 月 26 日	留学開始 時学年	2 年次
奨学金 （奨学金を受給 した場合）	☐ 奨学金受給無し ☐ JASSO 海外留学支援制度 ☐ 国際奨学事業 ☐ トビタテ！留学 JAPAN 【第 期】 ☒ その他（熊本大学国際力強化事業費）		



1. 出発前の準備について

ビザの申請	☐ 有 ☒ 無 種類()	ビザ申請先	☐ 国内 ☐ 現地 場所()
留学に向けて 取り組んだ語学	☒ 英語 ☐ 独語 ☐ 仏語 ☐ 中国語 ☐ 韓国語 ☐ その他 () 語)		
勉強方法	洋画鑑賞 (文法よりもリスニング力の向上を意識していました。)		
必要経費 (留学に必要な 支払い費用) ※概算費用 (おおよ その費用)	☐ プログラム費用 406182 円 (宿泊費、保険料、食費込み) ☐ 宿泊費用 (寮／ホームステイ等) 円 ☐ ビザ申請 円 ☐ 渡航費 (☐ 片道 ☒ 往復) 219130 円 ☐ 海外旅行保険料 円 ☐ 食費 円 ☐ その他 (お土産代、外食費など) 75646 円		

2. 渡航～到着後の生活について

利用航空会社	ANA 株 式 会 社 、 air newzealand	手配	株式会社ツアーバンク ※利用したサイト、旅行会社等
移動経路 ※往路のみ	自宅 - 福岡空港 - 羽田空港 - 成田空港 - オークランド 空港 - パーマストンノース 空港	到着 時刻	現地時間 3 月 4 日 14 : 04 【※移動時間 (約 14 時間)】
大学 (寮) への 移動手段	☒ 大学手配の出迎え (ホストファミリー) ☐ 知人の出迎え ☐ タ クシー ☐ 公共交通機関 (☐ バス ☐ 電車) ☐ その他 ()		
空港から移動する 際の注意点 行き方、料金等	時間に余裕を持って移動すること。		
宿泊先	☐ 寮 ☒ ホームステイ その他 ()	宿泊 手配	☒ 大学の斡旋 ☐ 自分で その他 ()
部屋の種類	☒ 一人部屋 ☐ 二人部屋 その他 ()	ル ー ム メイト	☐ 日本人学生 ☐ 他国からの学生 その他 ()

その他生活に必要な手続き、アドバイス（口座開設、保険、携帯電話、荷物、支払い方法など）	携帯会社の海外利用のアプリを事前に登録していました。空港についたらすぐに利用を開始できたので、Wi-Fi や sim カードを借りるより簡単だと思います。
--	--

3. 留学先の大学について

プログラムの概要について（授業・フィールドワーク内容、スケジュール等）	初日は、オリエンテーション及び大学内の施設などについての説明。二日目以降は、午前中は英語の授業、午後からは最終日のプレゼンテーションに向けた準備かアクティビティ体験で大学外に行くこともありました。
留学先大学でのサポート体制について（語学面／学校生活／住居・日常生活等）	自分は特に困ったことはなかったですが、ホストファミリーとの関係に悩む学生に対しては、親身になって話を聞いてくださっている感じがしました。また、土日等で市外に行く場合は事前に伝えないといけないなど、私たちの安全に注意を払っていただいています。
留学開始後に行った留学先大学の手続き（学生証、履修登録、大学 ID の設定等）	事前にプログラムが組まれていたので、自分では特に何もしていません。

休日や余暇の過ごし方 (観光、現地学生との交流等) ※どうやって探したか、きっかけなども具体的に	一日は首都のウェリントンに旅行に行きました。これは、大学のプログラムに含まれていたもので、大学に先生と日本人学生と大学が手配したバスで行きました。 日本人同士で週末に旅行に行く計画も立てましたが、二月の大雨洪水の影響で行ける場所も限られていたり、直前だったためか高速バスが売り切れていたりでいけませんでした。 ほとんどの休日をホストマザーと過ごしました。田舎のため観光名所等には行けませんでした。隣町のマーケットやビーチまで連れて行ってくれました。また帰国直前には一緒にお土産を選びに行ってくれました。
---	--

4. 留学成果とアドバイス

留学によって得られた成果（語学に関すること、ものの考え方や取り組み方、コミュニケーション能力など自由に記載してください）
高校までの英語の授業で学んでいたもののほとんどがアメリカ英語だったためか、最初の数日はニュージーランドのイギリス英語をほとんど聞き取れず、焦りました。しかし2日か3日くらいでだいぶ慣れてきて、大学の先生やホストマザーの言っていることはだいぶ聞き取れてようになりました。ほかの人が言っていることが1回で分からなかったときでも、聞き返せばゆっくり簡単な英語で言い直してくれるので、コミュニケーションで困ることはありませんでした。いろいろな人と話せば話すほどナチュラルな英語に触れることができ、それをまねして実践する機会も作れました。 熊大から10人で行っていたので、日本語を話してしまうこともありましたが、学校外の日本人が周りにいない環境に積極的に出ていくことも大事だと感じました。
同じプログラムへ参加を希望する人へのアドバイス（留学先大学、プログラムに関すること、生活全般に関する事など自由に記載してください）
マッセー大学が授業のプログラムからホストファミリーのことまで事前に入念な準備をしてくださっているので何も心配いりませんでした。また、ほとんどのホストファミリーは留学生の受け入れに慣れている様子だったので、何かあっても冷静に対応してくれると思います。 授業は日本人だけで受けるので、少し物足りなく感じました。しかし、ランチタイムや放課後などほかの学生と話す機会は自分の行動次第でいくらでも作れると思います。 ホストファミリーについて家族構成や休日の過ごし方に希望があるなら、事前アンケートで細かく記載しておくべきだと思います。

留学を通しての感想

私は今回の留学が初めての海外渡航でした。そのため、渡航直前は英語力はもちろん入国審査や生活スタイルなどたくさんの不安がありました。しかしこの語学セミナーは10人の熊大生が一緒に行くものなので一人で悩むことはありませんでした。もともと友達同士だったわけではありませんが、3週間一緒に過ごすのでとても仲良くなれます。現地で出会った人たちだけでなく、一緒に行ったみんなと出会えたことも大切な思い出です。元々英語を話すことに自信はありませんでした。しかし、たくさん話かけて、実践を積むことが英語力を向上させる1番の方法だと気づきました。文法が間違っていることも伝えたいことは伝わるし、先生やホストファミリーは正しい文法を教えてくれることもあります。また、現地の人のまねをするのもいいと感じました。

参加して良かったです。

熊本大学海外派遣留学生 報告書

(協定校サマープログラム／語学セミナー)

氏名	C さん		
所属	法 学部・大学院 法 学科・専攻		
留学先機関名	マッセー大学 (国名：ニュージーランド)		
参加プログラム 区分	☐ 協定校サマープログラム ☒ 語学セミナー ☐ その他：		
留学期間	2023 年 3 月 4 日－ 2023 年 3 月 25 日	留学開始 時学年	1 年次
奨学金 (奨学金を受給 した場合)	☐ 奨学金受給無し ☒ JASSO 海外留学支援制度 ☐ 国際奨学事業 ☐ トビタテ！留学 JAPAN 【第 期】 ☐ その他 ()		



1. 出発前の準備について

ビザの申請	☐ 有 ☒ 無 種類()	ビザ申請先	☒ 国内 ☐ 現地 場所()
留学に向けて 取り組んだ語学	☒ 英語 ☐ 独語 ☐ 仏語 ☐ 中国語 ☐ 韓国語 ☐ その他 (語)		
勉強方法	YouTube を見たり、留学生と話す		
必要経費 (留学に必要な 支払い費用) ※概算費用 (おおよ その費用)	☒ プログラム費用 20 万 円 ☒ 宿泊費用 (寮／ホームステイ等) 10 万 円 ☒ ビザ申請 3, 4000 円 ☒ 渡航費 (□片道 ☒ 往復) 20 万 円 ☒ 海外旅行保険料 1 万 円 ☐ 食費 円 ☒ その他 (娯楽費) 4 万 円		

2. 渡航～到着後の生活について

利用航空会社	ANA、ニュージーランド航空	手配	旅行会社 ※利用したサイト、旅行会社等
移動経路 ※往路のみ	福岡空港→羽田空港、羽田空港→成田空港、成田空港→オークランド、オークランド→パーマストンノース	到着時刻	午前 9 時 【※移動時間 (約 15 時間)】
大学 (寮) への 移動手段	☒ 大学手配の出迎え ☐ 知人の出迎え ☐ タクシー ☐ 公共交通機関 (□バス □電車) □その他 ()		
空港から移動する 際の注意点 行き方、料金等	ホストファミリーが迎えに来るので、特になし		
宿泊先	☐ 寮 ☒ ホームステイ その他 ()	宿泊手配	☒ 大学の斡旋 ☐ 自分で その他 ()
部屋の種類	☒ 一人部屋 ☐ 二人部屋 その他 ()	ルームメイト	☐ 日本人学生 ☐ 他国からの学生 その他 ()

その他生活に必要な手続き、アドバイス (口座開設、保険、携帯電話、荷物、支払い方法など)	・クレジットカードを何種類か持っていく。クレジットカードが使えないときのために現金もある程度持っていく。 ・保険は必ず入しておく。
---	--

3. 留学先の大学について

プログラムの概要について（授業・フィールドワーク内容、スケジュール等）	・授業は熊大生のための英語の授業。 ・授業以外に、スポーツをしたり、ゴーカートをしたり、ウェリントンの観光があるが、熊大生のためのアクティビティー。たまに、現地の学生と交流するが、人数は少なく、十分には交流できない。 ・だいたい朝の 9 時から 15 時までが学校。
留学先大学でのサポート体制について (語学面／学校生活／住居・日常生活等)	語学面に関しては、学校で熊大生との授業のため日本語に触れている時間の方が多い。ホームステイ先では、ホストファミリーにもよるが、英語での交流ができる。
留学開始後に行った留学先大学の手続き (学生証、履修登録、大学 ID の設定等)	特になし。

休日や余暇の過ごし方 (観光、現地学生との交流等) ※どうやって探したか、きっかけなども具体的に	ホストファミリーと出かけたり、友達と遊んだりできる。 ホストファミリーの仕事の都合や、時間に限りもあり、遠出の観光などにはできない。 現地の学生と交流する機会はあまりないため、自分たちから話しかけに行くと交流できる。
---	---

4. 留学成果とアドバイス

留学によって得られた成果（語学に関すること、ものの考え方や取り組み方、コミュニケーション能力など自由に記載してください）
生活の中で、言葉がどれだけ大事かということがわかると同時に、言葉が通じなくてもコミュニケーションをとることができるということを学びました。結局は、自分の気持ちを伝えようとする意志と、相手の言っていることを聞き取ろうとする努力が大切だと感じました。ホストファミリーとコミュニケーションをする中で、もっと英語力をつけたいと思うことができました。また、外国に行っても健康な体と、携帯のマップとお金があれば、たいていのことはどうにかなると楽観的に考えることができるようになりました。
同じプログラムへ参加を希望する人へのアドバイス（留学先大学、プログラムに関すること、生活全般に関する事など自由に記載してください）
自分の気持ちは、英語力に自信がないからといって我慢する必要はないです。特に、ホストファミリーとはしっかりとコミュニケーションをとらないと、相手も自分のことを理解してもらえません。また、本格的に英語力を伸ばしたい人には、あまりおすすめできません。なぜなら、学校の授業は熊大生しかいないので、日本語で話してしまい1日の中で日本語に触れてしまう時間が増えてしまうからです。ただ、とても楽しい時間は過ごせます。

留学を通しての感想

自分が想像していなかったことがたくさん起きて、留学は甘くないなと思いました。でも、3週間という短い期間だったが、人の優しさや、日本にいる家族や友達のありがたさに気づくことができました。また、挑戦したからこそ、大切な人たちや思い出に出会うことができました。留学を通して、ニュージーランドのいいところ、日本のいいところに気づくことができ良かったです。次に、留学に行く機会があったら、今回の経験を活かしたいと思います。支えてくれた家族やホストファミリー、一緒にニュージーランドに行った熊大生、国際教育課の方、現地の先生方に感謝の気持ちでいっぱいです。

熊本大学海外派遣留学生 報告書

(協定校サマープログラム／語学セミナー)

氏名	D さん		
所属	文 学部 大学院 総合人間 学科 専攻		
留学先機関名	マッセー大学 (国名：ニュージーランド)		
参加プログラム 区分	☐ 協定校サマープログラム ☒ 語学セミナー ☐ その他：		
留学期間	2023 年 3 月 3 日－ 2023 年 3 月 25 日	留学開始 時学年	1 年次
奨学金 (奨学金を受給 した場合)	☐ 奨学金受給無し ☒ JASSO 海外留学支援制度 ☐ 国際奨学事業 ☐ トビタテ！留学 JAPAN 【第 期】 ☐ その他 ()		

1. 出発前の準備について

ビザの申請	☐ 有 ☒ 無 種類()	ビザ申請先	☐ 国内 ☐ 現地 場所()
留学に向けて 取り組んだ語学	☒ 英語 ☐ 独語 ☐ 仏語 ☐ 中国語 ☐ 韓国語 ☐ その他 () 語)		
勉強方法	英単語の復習、図書館で留学に関する本を借りて読む、洋画を見る		
必要経費 (留学に必要な 支払い費用) ※概算費用(おおよ その費用)	☐ プログラム費用 420,000 円 ☐ 宿泊費用(寮/ホームステイ等) 円 ☐ ビザ申請 円 ☐ 渡航費(片道 ☒ 往復) 219,130 円 ☐ 海外旅行保険料 10,590 円 ☐ 食費 円 ☐ その他 () 円		

2. 渡航～到着後の生活について

利用航空会社	ANA	手配	ツアーバンク ※利用したサイト、旅行会社等
移動経路 ※往路のみ	飛行機	到着 時刻	14:15 【※移動時間(約 10 時間)】
大学(寮)への 移動手段	☐ 大学手配の出迎え ☐ 知人の出迎え ☐ タクシー ☒ 公共交通機関(☒ バス ☐ 電車) ☐ その他 ()		
空港から移動する 際の注意点 行き方、料金等	ホストファミリーがそれぞれ迎えに来てくれました		
宿泊先	☐ 寮 ☒ ホームステイ その他()	宿泊 手配	☒ 大学の斡旋 ☐ 自分で その他()
部屋の種類	☒ 一人部屋 ☐ 二人部屋 その他()	ルーム メイト	☐ 日本人学生 ☐ 他国からの学生 その他()
その他生活に必要な 手続き、アドバイス (口座開設、保険、 携帯電話、荷物、 支払い方法など)	携帯は現地の空港で sim カードを買いました。国際線のターミナルに売ってあります。これが一番安いし、現地のアプリをダウンロードすることも出来るのでおすすめです。支払いは主にクレジットカードを使うので、現金は少しで大丈夫です。		

3. 留学先の大学について

プログラムの概要について（授業・フィールドワーク内容、スケジュール等）	基本的には午前中に英語の授業、午後にプレゼンテーションの作成。そして最終日に、英語での最終プレゼンを行うという流れでした。ですが、授業が突然スポーツに変わったり、大学の敷地内にある山探検に変わったりすることもありました。面白かったです。午後の授業は、ゴーカートをしたり、小学校訪問をしたり、ビーチに行ったりする日もありました。また、プログラムの一つとして土曜日に熊大のみんなと一緒に Wellington に行く日もありました。まだ留学生が少ない関係からか、結局クラスが分けられることはなく、熊大の 10 人で一つのクラスといった形での授業でした。授業内容としてはテキストの問題を解いたり、英語を使った様々なゲームをしたり、英語の歌を歌ったりと日本での英語の授業に比べて楽しいものばかりでした。
留学先大学でのサポート体制について（語学面／学校生活／住居・日常生活等）	何かあったら相談に乗ってくれる大学の関係者の方が二人ラインのグループに入っていて、いつでも相談していいよと言ってくれました。また、ホストファミリーも助けてくれると思います。対応はすべて英語にはなりますが、私は特に困ったことはありませんでした。
留学開始後に行った留学先大学の手続き（学生証、履修登録、大学 ID の設定等）	初日にバスカードと学生証を渡され、手続きはとくに必要ありませんでした。プログラムも事前に組まれているので、履修登録は必要なかったです。
休日や余暇の過ごし方（観光、現地学生との交流等） ※どうやって探したか、きっかけなども具体的に	休日はホストファミリーがマーケットやカフェ、ハイキングなどいろいろなところに連れて行ってくれました。また、他の友達のホストファミリーが熊大生を招待してくれて、日本食パーティーをしたこともありました。自分で休日の計画を立てることはありませんでしたが、楽しい時間を過ごすことができました。 私は、オーストラリアからの留学生とフラットメイトだったのでその子とその友達と夜ご飯を食べに出かけました。図書館で現地の学生に話しかけてインスタを交換し、放課後にカフェに行ったりもしました。

4. 留学成果とアドバイス

留学によって得られた成果（語学に関すること、ものの考え方や取り組み方、コミュニケーション能力など自由に記載してください）

期間が三週間だったので、英語力が大幅に上がったかというそうではないと思います。ですが、留学する前と比べるとリスニング能力は上がったと思うし、英語も最初よりは話せるようになりました。何よりも自分の英語が現地で通じるということが自信につながりました。これから英語の勉強を頑張ろうと思えたのでこのプログラムに参加してよかったなと思います。

また、ニュージーランドで生活してみて、なんでもやってみれば何とかできるのだと感じることができました。大学で知らない学生に話しかけてみたり、一人でカフェやショップに行ってみたりと、日本ではやらないようなことにも「せっかく海外に来たのだからマインド」で挑戦することができました。そしてやってみたら意外と何でもできるのだという結論に達しました。これはコミュニケーション力が高い友達の存在も大きかったです。日本でもやってみよう精神を忘れないようにしたいです。

同じプログラムへ参加を希望する人へのアドバイス（留学先大学、プログラムに関すること、生活全般に関することなど自由に記載してください）

私のホストマザーはあまり自分から話を振ったり、質問をしてきたりしない人でした。最初は、たくさん話しかけてくれるという友達のホストファミリーと比較して最悪だと思ってしまいました。しかし、気まずいのは向こうも同じだと気づき、なるべく自分から話しかけるように心がけました。そうすると会話も続くようになり、徐々に自分のホストファミリーがどんな人なのか分かるようになりました。最終的には自分のホストファミリーがこの人で良かったと思えるようになりました。

私からのアドバイスは、自分のホストファミリーを他のホストファミリーと比べないことです。そして、ホストファミリーに対して期待してばかりいるのではなく、自分からアクションを起こすことが大切だと思います。それでもどうしてもダメだったらホストファミリーを途中で変えてもらうこともありだと思います。せっかく海外プログラムに参加するなら積極的に行動して、精一杯楽しんでください。

留学を通しての感想

今回が海外に行くのが初めてだったので緊張していましたが、とても充実した楽しい三週間を過ごすことができました。パーマストンノースは田舎ですが、優しい人が多く、とても過ごしやすい場所だったなと思います。私の家のフラットメイトは、一人で獣医になるためにオーストラリアから5年間学びに来ている留学生でした。彼女をはじめとして現地の人には自分に比べて自立している人が多い印象を受けました。ニュージーランドは様々な部分が日本と比べて自由でルーズですが、これは個人が自立しているがゆえに成り立っているのだと思います。私は実家暮らしなので、彼女を見習って自立できるように日本でも頑張ろうと思えました。この三週間で経験したことを糧にこれから英語の勉強をはじめとして、いろいろなことを頑張っていきたいです。

熊本大学海外派遣留学生 報告書

(協定校サマープログラム／語学セミナー)

氏名	大城安可利		
所属	_____ 文 _____ 学部・大学院 _____ 総合人間 _____ 学科・専攻		
留学先機関名	マッセー大学 (国名：ニュージーランド)		
参加プログラム 区分	☐ 協定校サマープログラム ☒ 語学セミナー ☐ その他：		
留学期間	2023 年 3 月 3 日－ 2023 年 3 月 26 日	留学開始 時学年	__2__ 年次
奨学金 (奨学金を受給 した場合)	☐ 奨学金受給無し ☒ JASSO 海外留学支援制度 ☐ 国際奨学事業 ☐ トビタテ！留学 JAPAN 【第 _____ 期】 ☐ その他 (_____)		

1. 出発前の準備について

ビザの申請	☐ 有 ☒ 無 種類()	ビザ申請先	☐ 国内 ☐ 現地 場所()
留学に向けて 取り組んだ語学	☒ 英語 ☐ 独語 ☐ 仏語 ☐ 中国語 ☐ 韓国語 ☐ その他()語)		
勉強方法	海外映画を英語（日本語字幕）で鑑賞 YouTube でリスニング動画を観る 英会話の本で日常会話の表現を覚える		
必要経費 (留学に必要な 支払い費用) ※概算費用（おおよ その費用）	☐ プログラム費用 420,000 円 ☐ 宿泊費用（寮／ホームステイ等） 円 ☐ ビザ申請 円 ☐ 渡航費（ ☐ 片道 ☒ 往復） 219,130 円 ☐ 海外旅行保険料 円 ☐ 食費 円 ☐ その他（観光、お土産など） 100,000 円		

2. 渡航～到着後の生活について

利用航空会社	ANA, ニュージーランド航空	手配	ツアーバンク ※利用したサイト、旅行会社等
移動経路 ※往路のみ	福岡→羽田→成田→オー クランド→パーマストン ノース	到着 時刻	14:15 【※移動時間（約 27 時間）】
大学（寮）への 移動手段	☒ 大学手配の出迎え ☐ 知人の出迎え ☐ タクシー ☐ 公共交通機関（ ☐ バス ☐ 電車） ☐ その他()		
空港から移動する 際の注意点 行き方、料金等	ホストファミリーがパーマストンノースの空港まで迎えに来てくれた。		
宿泊先	☐ 寮 ☒ ホームステイ その他()	宿泊 手配	☒ 大学の斡旋 ☐ 自分で その他()
部屋の種類	☒ 一人部屋 ☐ 二人部屋 その他()	ルーム メイト	☐ 日本人学生 ☐ 他国からの学生 その他(なし)
その他生活に必要な 手続き、アドバイス (口座開設、保険、 携帯電話、荷物、 支払い方法など)	携帯電話に関して、SIM カードの人と Wi-Fi を借りている人両方 いたが、SIM カードだと現地のアプリを入れられるので便利だと 感じた。買い物時の支払いは、現金とクレジット両方扱っている 所がほとんどだった。JCB は扱っていなかったので、VISA か Master を持ってくるべき。		

3. 留学先の大学について

プログラムの概要について（授業・フィールドワーク内容、スケジュール等）	午前中に英語の授業があつて、午後はプレゼンの準備が多かった。午前の授業は日常会話で使える表現を習ったりゲームをしたりすることも多かったが、文法や単語の学習など正直日本でも出来る授業も多かった。午後はプログラム最終日に2人1組で行うプレゼンに向けて約3週間かけて準備した。マッセーの学生にアドバイスを貰う時間も1度あったが、それ以外は自習だった。午後の授業はアクティビティに変わることもたまにあった。 基本的に授業もアクティビティも熊大生だけで、現地の人と交流できる機会が少なかった。ゴーカートやゴルフ、ビーチ観光などでもっと現地の学生と交流したかった。現地の小学生との交流はとても楽しかった。
留学先大学でのサポート体制について（語学面／学校生活／住居・日常生活等）	マッセー大学の先生が、何かあればいつでも相談に乗ると仰ってくれた。私は特に問題なく過ごせた。
留学開始後に行った留学先大学の手続き（学生証、履修登録、大学IDの設定等）	授業初日にバスカードが配られた。手続きは特になかった。
休日や余暇の過ごし方（観光、現地学生との交流等） ※どうやって探したか、きっかけなども具体的に	休日はホストファミリーが色々なところへ観光に連れて行ってくれた。また、学校が3時には終わるので、放課後みんなで街に行ったりご飯を食べに行ったりした。

4. 留学成果とアドバイス

留学によって得られた成果（語学に関すること、ものの考え方や取り組み方、コミュニケーション能力など自由に記載してください）

私は自分の英語にあまり自信が無かったが、留学中ホストファミリーやお店の人に自分の言いたいことが通じるという経験が自信に繋がった。また、どれだけ下手でもたくさん話してみることが大事だと思うようになり、自分から積極的に話しかけるようになった。大学の図書館で自分から話しかけて友達を作った経験は私にとって凄く大事な思い出になった。また、「自分の英語が上手ければもっと楽しく会話できたかもしれない」という後悔が、日本に帰ってから英語を勉強するモチベーションになった。

それから、ホストファミリーが凄くポジティブな考え方をしてたくさん褒めてくれる人だったので、自己肯定感が上がったし、私も彼女たちの考え方を真似したいと思った。

同じプログラムへ参加を希望する人へのアドバイス（留学先大学、プログラムに関すること、生活全般に関することなど自由に記載してください）

ニュージーランドの人は皆とてもフレンドリーで、お店やバス、通りすがりの人でさえ沢山話しかけてくれるので「現地の人とたくさん話したい」という人にぴったりの留学先だと思います。また、ニュージーランドは他の国と比べて比較的時差が少なく、環境等なんとなく熊本に似ている所も多くてすごしやすかったのも、初めての留学にも良い場所だと感じました。

プログラムに関しては、授業やアクティビティなどでもっとたくさん現地の学生と交流出来るようにしてほしいと思いました。

留学を通しての感想

今回の留学を通してホストファミリーをはじめ、沢山の素敵な人々と出会えたことが私にとって貴重な経験になりました。ニュージーランドの人は本当に皆フレンドリーで優しくて、自分の英語が上手ければもっとたくさん楽しく会話できたのにと勉強不足をすごく後悔しました。この後悔を胸に日本で英語学習を頑張り、またニュージーランドに旅行や、より長期の留学で行きたいと強く思いました。

それから、留学に行くことと決めたことや留学先で勇気を出してたくさんの人に話しかけた経験から、自分で決めて積極的に行動することが前より出来るようになったのではないかと感じます。様々な面で、自分の自信に繋がる経験が出来た留学でした。

熊本大学海外派遣留学生 報告（協定校サマープログラム／語学セミナー）

氏名	E さん		
所属	____ 教育 ____ 学部・大学院 ____ 保健体育 ____ 学科・専攻		
留学先機関名	マッセー大学 （国名： ニュージーランド ）		
参加プログラム区分	☐ 協定校サマープログラム ☒ 語学セミナー ☐ その他：		
留学期間	2023年 3月 3日－2023年 3月 25日	留学開始時学年	____ 1 ____ 年次
奨学金 （奨学金を受給した場合）	☐ 奨学金受給無し ☒ JASSO 海外留学支援制度 ☐ トビタテ！留学 JAPAN 【第 ____ 期】 ☐ その他（ ____ ）		



1. 出発前の準備について

ビザの申請	☐ 有 ☒ 無 種類()	ビザ申請先	☐ 国内 ☐ 現地 場所()
留学に向けて 取り組んだ語学	☒ 英語 ☐ 独語 ☐ 仏語 ☐ 中国語 ☐ 韓国語 ☐ その他()語)		
勉強方法	TED、自分で買った本		
必要経費 (留学に必要な 支払い費用) ※概算費用(おおよ その費用)	☒ プログラム費用 420000円 ☐ 宿泊費用(寮/ホームステイ等) 円 ☐ ビザ申請 円 ☒ 渡航費(☐ 片道 ☒ 往復) 219130 円 ☒ 海外旅行保険料 (プログラム費用に含まれる) ☒ 食費 1万円(ほぼホストファミリーが負担してくれました) ☐ その他() 円		

2. 渡航～到着後の生活について

利用航空会社	ANA、ニュージーランド航空	手配	株式会社ツアーバンク ※利用したサイト、旅行会社等
移動経路 ※往路のみ	福岡→羽田→成田→オーク ランド→パーマストンノー ース	到着 時刻	【※移動時間(約11時間)】
大学(寮)への 移動手段	☐ 大学手配の出迎え ☐ 知人の出迎え ☐ タクシー ☒ 公共交通機関(☒ バス ☐ 電車) ☐ その他()		
空港から移動する 際の注意点 行き方、料金等	バスの予約時刻を変更したりするときは、最後まで完了できているか確認をする。		
宿泊先	☐ 寮 ☒ ホームステイ その他()	宿泊 手配	☒ 大学の斡旋 ☐ 自分で その他()
部屋の種類	☒ 一人部屋 ☐ 二人部屋 その他()	ルーム メイト	☐ 日本人学生 ☐ 他国からの学生 その他()
その他生活に必要な 手続き、アドバイス (口座開設、保険、 携帯電話、荷物、 支払い方法など)	留学前は自分の準備などやることがとても多く、保険の加入などを忘れてしまいがちなので、メールなどで連絡が来たらすぐに登録をするようにした方が良いです。クレジットカードが使えるところがほとんどだったので、事前に作っておくとよいです。携帯の海外でのプランについてですが、行った先のSIMカードを買う人やWi-Fiを買ったり、ドコモ海外利用のプランでする人など様々でしたが、基本的にホームステイ先や学校にはWi-Fiがある		

	ので、SIM カードが一番安くて便利だと思います。SIM カードを持っていた方が手続きが簡単な乗り物などもありました。
--	---

3. 留学先の大学について

プログラムの概要について（授業・フィールドワーク内容、スケジュール等）	授業は、基本的なグラマーだけでなく、ネイティブの方たちが日常でよく使う表現の仕方など高校まででは習わない表現なども習った。新しい単語を学習するときには新しい単語の意味を出来るだけ英語で違う言葉で表現して周りの人が何の単語かを推測するゲームなどを行った。このやり方は自分の言葉を英語で表現する力を伸ばすことにも繋がるし、単語の意味を記憶と良く結びつけることが出来ると感じた。学校も 9 時から昼を挟んで 3 時までで、休憩時間が日本と比べて長かったため集中して取り組むことが出来た。天気がいい日の午後はみんなで体を動かす日などもあった。午後に週に 2, 3 回ほどプレゼンテーションを準備をする時間があった。
留学先大学でのサポート体制について（語学面／学校生活／住居・日常生活等）	学校生活でも 4 人ほどの先生たちが分担して私たちの質問に答えてくれたり、学校を案内してくれたりした。日常生活でも何か問題はないかホストファミリーに電話をしてくれていた。
留学開始後に行った留学先大学の手続き（学生証、履修登録、大学 ID の設定等）	特にそのような手続きを自分ですることはなかった。

休日や余暇の過ごし方 (観光、現地学生との交流等) ※どうやって探したか、きっかけなども具体的に	休日はホストファミリーの友人たちとカフェに出かけて沢山話したり、ヒツジや風車を見に行ったりした。ビーチまで連れて行ってもらったりきれいな景色もたくさん見せてもらったりした。現地の学生との交流の時間は、授業内ではあまりなかったが、図書館や昼ご飯の時間の中で、積極的に話しかけて日本のことについて沢山話した。
---	---

4. 留学成果とアドバイス

留学によって得られた成果（語学に関すること、ものの考え方や取り組み方、コミュニケーション能力など自由に記載してください）
語学に関しては、完璧ではなくてもまずは真似して話してみることが大切だということが分かった。思っていることは表情やトーン、状況である程度伝わるだろうという軽い気持ちでコミュニケーションをとろうとすることが語学習得で大切なのだと感じた。生活の中でも、ごみの出し方や寝る時間、選択のやり方や運転に関する考え方、タオルを変える頻度やバスの運転手さんに対する対応などたくさんの日本との違いに刺激を受け、自分の中の常識がすべてではないことに気づかされた。この経験を通して、自分と他者とは価値観が違うのは当たり前で、それを合わせようとするのではなく、理解しようとするのが大切だということに気づかされた。
同じプログラムへ参加を希望する人へのアドバイス（留学先大学、プログラムに関すること、生活全般に関することなど自由に記載してください）
ホームステイ先でのコミュニケーションについて、聞いていてわからない点があったら迷わずに聞き返すということは忘れないようにした方が良いでしょう。わかりやすい単語や表現で言い換えてもらうことでこんな表現の仕方もあるのかと気づくきっかけにもなりました。また、聞きとる力がないとそれに対する自分の意見も述べることはできないし、リアクションをとることもできないので、留学前はたくさん英語の会話などを映画やYouTubeで聴くようにするのが良いと思います。また、風を引いたり、熱を出したりする人がほとんどだったので、日本からの見慣れた薬を持って行っておくと安心でした。

留学を通しての感想

3週間という短い留学生活でしたが、実際に住んでみないとわからない海外生活の自由さや日本とは違う考え方など、毎日ただ生活しているだけでも刺激を受ける場面がとても多かったです。特に私は、バス下車時にニュージーランドではほとんどの人が「ありがとう！」と大きな声でいうところがとても素晴らしいなと感じました。このように自分の気持ちを素直に相手に伝えるという考え方は自分も日本に持ち帰って実践できるなと感じました。また、生活する中でもっと自分の意見をもって選択をしていいのだということを感じました。はじめのうちは遠慮してしまう部分もありましたが、だんだんと自分の意見をはっきりと持て言えるようになった時はとても嬉しかったし、自分も気持ちよく過ごせているなと感じることが出来ました。また、プレゼンテーションを作る中で、ニュージーランドと日本の違いについて詳しく調べましたが、自分が思っているより世界は広いことや参考にできる部分も多いことに気づかされました。他の友人たちの発表を聞く中でも、自分一人では調べるという考えにすら至らなかったであろう分野の知識や情報を知ることが出来て、知識を広げる良い機会になりました。この留学を通して、もっと他の国の考え方や社会の様子について知りたいと思えるようになったし、何より自分の中の常識に対する考え方などに成長が見られたことがうれしかったです。ここで学んだことを忘れずにこれからの生活にも生かしていきたいと思います。

熊本大学海外派遣留学生 報告書

(協定校サマープログラム／語学セミナー)

氏名	F さん		
所属	工学部 材料・応用化学学科		
留学先機関名	マッセー大学 (国名：ニュージーランド)		
参加プログラム 区分	☐ 協定校サマープログラム ☒ 語学セミナー ☐ その他：		
留学期間	2023 年 3 月 3 日－ 2023 年 3 月 26 日	留学開始 時学年	1 年次
奨学金 (奨学金を受給 した場合)	☐ 奨学金受給無し ☒ JASSO 海外留学支援制度 ☐ 国際奨学事業 ☐ トビタテ！留学 JAPAN 【第 期】 ☐ その他 ()		

1. 出発前の準備について

ビザの申請	☐ 有 ☒ 無 種類()	ビザ申請先	☐ 国内 ☐ 現地 場所()
留学に向けて 取り組んだ語学	☒ 英語 ☐ 独語 ☐ 仏語 ☐ 中国語 ☐ 韓国語 ☐ その他 (語)		
勉強方法	TOEIC の参考書を活用した		
必要経費 (留学に必要な 支払い費用) ※概算費用 (おおよ その費用)	☐ プログラム費用 650000 円 ☐ 宿泊費用 (寮／ホームステイ等) 円 ☐ ビザ申請 円 ☐ 渡航費 (☐ 片道 ☐ 往復) 円 ☐ 海外旅行保険料 円 ☐ 食費 円 ☐ その他 () 円		

2. 渡航～到着後の生活について

利用航空会社	ANA、Air New Zealand	手配	ツアーバンク ※利用したサイト、旅行会社等
移動経路 ※往路のみ	飛行機、シャトルバス	到着 時刻	14 時 【※移動時間 (約 13 時間)】
大学 (寮) への 移動手段	☒ 大学手配の出迎え ☐ 知人の出迎え ☐ タクシー ☐ 公共交通機関 (☐ バス ☐ 電車) ☐ その他 ()		
空港から移動する 際の注意点 行き方、料金等			
宿泊先	☐ 寮 ☒ ホームステイ その他 ()	宿泊 手配	☒ 大学の斡旋 ☐ 自分で その他 ()
部屋の種類	☒ 一人部屋 ☐ 二人部屋 その他 ()	ルーム メイト	☐ 日本人学生 ☐ 他国からの学生 その他 ()
その他生活に必要な 手続き、アドバイス (口座開設、保険、 携帯電話、荷物、 支払い方法など)	ホームステイ先に Wi-Fi が設備されている場合は、SIM を現地で購入した方がいいと思います。また、インスタント食品などを持っていくことをお勧めします。		

3. 留学先の大学について

プログラムの概要について（授業・フィールドワーク内容、スケジュール等）	主に午前中は、英語をアクティブラーニング形式で学習しました。午後は、自分たちが決めたトピックについてのパワーポイント作成を行いました。
留学先大学でのサポート体制について（語学面／学校生活／住居・日常生活等）	担当の方がサポートしてくださいました。
留学開始後に行った留学先大学の手続き（学生証、履修登録、大学 ID の設定等）	なし。
休日や余暇の過ごし方（観光、現地学生との交流等） ※どうやって探したか、きっかけなども具体的に	友達のホームステイ先でのパーティーに参加したり、事前にプログラムで決められていた観光に参加した。

4. 留学成果とアドバイス

留学によって得られた成果（語学に関すること、ものの考え方や取り組み方、コミュニケーション能力など自由に記載してください）

今回の留学では、自分の語学力のなさに何度も挫折しそうになることがあった。しかし、とにかく英語を話すことに重点を置き、何事にも挑戦した。最初は慣れないことに不安もあったが、いい経験になったと感じる。また、今までは自分から主体的に行動することが少なかったが、今回の留学では、現地の大学生に自分から声をかけて友達になるなど自分から主体的に行動する必要性を学んだ。また、ホームステイでは、自分が当たり前と思っていたことが当たり前ではないことに気付かされた。国籍、育った環境が違うため物事の価値観、考え方が違うことを改めて認識させられた。そのときに全てを鵜呑みするのではなく、相手の文化、考え方を尊重したうえで自分の考え方を主張する大切さも感じることも出来た。今回の留学では、語学力向上を主な目的と考えていたが、それ以外でも日々の生活の中で学ぶことが多かった留学となった。また、新しい出会いがたくさんあり自己成長につながったと感じる。

同じプログラムへ参加を希望する人へのアドバイス（留学先大学、プログラムに関すること、生活全般に関することなど自由に記載してください）

留学で自分が何をしたいのか目的を明確に決めてから留学すると、自分の留学に対するモチベーションになると思うのでいいと思います。

また、ニュージーランドは多国籍国家で様々な国からの移民が多いため、いろんな文化や習慣などに触れることが出来ます。

ニュージーランドはかなり日差しが強く、紫外線が強いので日焼け止めや帽子、サングラスなどを持っていくことをお勧めします。

留学を通しての感想

今回の留学では、普段の日常では体験できないことを体験することが出来、自己成長の機会となった。今回の留学は、初めての海外ということもあり、慣れない環境での生活で不安もあったが、いろんな人に助けられて留学を無事終えることが出来たと感じる。ホームステイ先での生活は言語の壁に何度も心折れそうになったが、その中で多くのことを学ぶことが出来、この経験は今後の生活において大きな経験となった。また、いろんな国籍の友達ができ、留学をしていなかったら出会うことのできなかった人たちとの交流ができよかったと感じる。今回の留学では、語学力向上を主な留学の目的としていたが、語学力向上以外にも、いろんなことを学ぶことが出来、国際交流などにも興味を持つことが出来たと感じる。この経験は、自分から積極的に行動したからこそその成果だと思うのでこれからもこの経験で学んだことを活かしていきたいと思う。

熊本大学海外派遣留学生 報告書

(協定校サマープログラム／語学セミナー)

氏名	G さん		
所属	工 学部 土木建築 学科・専攻		
留学先機関名	マッセー大学 (国名：ニュージーランド)		
参加プログラム 区分	☐ 協定校サマープログラム ☒ 語学セミナー ☐ その他：		
留学期間	2023 年 3 月 4 日－ 2023 年 3 月 26 日	留学開始 時学年	2 年次
奨学金 (奨学金を受給 した場合)	☐ 奨学金受給無し ☒ JASSO 海外留学支援制度 ☐ トビタテ！留学 JAPAN 【第 期】 ☐ その他 ()		



1. 出発前の準備について

ビザの申請	☐ 有 ☒ 無 種類()	ビザ申請先	☐ 国内 ☐ 現地 場所()
留学に向けて 取り組んだ語学	☒ 英語 ☐ 独語 ☐ 仏語 ☐ 中国語 ☐ 韓国語 ☐ その他(語)		
勉強方法	3 か月前から英会話の勉強をした		
必要経費 (留学に必要な 支払い費用) ※概算費用(おおよ その費用)	☒ プログラム費用 約 40 万円 ☐ 宿泊費用(寮／ホームステイ等) 円 ☐ ビザ申請 円 ☒ 渡航費(☐ 片道 ☒ 往復) 約 22 万円 ☐ 海外旅行保険料 円 ☐ 食費 円 ☒ その他(お土産代、お小遣い) 約 15 万円		

2. 渡航～到着後の生活について

利用航空会社	ANA, NZ 航空	手配	(株)ツアーバンク ※利用したサイト、旅行会社等
移動経路 ※往路のみ	福岡→東京→オークランド →パーマストンノース	到着 時刻	3/3 11:45→3/4 14:15 【※移動時間(約 23 時間)】
大学(寮)への 移動手段	☒ 大学手配の出迎え ☐ 知人の出迎え ☐ タクシー ☐ 公共交通機関(☐ バス ☐ 電車) ☐ その他()		
空港から移動する 際の注意点 行き方、料金等	ホストファミリーによる出迎え		
宿泊先	☐ 寮 ☒ ホームステイ その他()	宿泊 手配	☒ 大学の斡旋 ☐ 自分で その他()
部屋の種類	☒ 一人部屋 ☐ 二人部屋 その他()	ルーム メイト	☐ 日本人学生 ☐ 他国からの学生 その他()

その他生活に必要な手続き、アドバイス（口座開設、保険、携帯電話、荷物、支払い方法など）	ほとんどの場所でカードでの支払いができるため、現金は少なくても良い。 携帯電話は docomo だと事前に手続きすれば、海外でも普段通り利用できる。他の人は、現地で SIM カードを購入するか、ポケット Wi-Fi を借りていた。 パソコンは持って行った方が良い。
--	---

3. 留学先の大学について

プログラムの概要について（授業・フィールドワーク内容、スケジュール等）	平日は 9 時～12 時と 13 時～15 時で授業があった。午後からアクティビティで校外にバスで出かけることもあった。土日はホストファミリーと過ごした。 通常は、午前中に英語の勉強をして午後にプレゼンテーションの準備をした。授業は座学だけでなく、英語を使ったゲームやスポーツをすることもあった。2 人 1 組で最終日にプレゼンをするので、それに向けてスライドを作ったり英語の文章を考えたりした。 週に 1～2 回、午後にフィールドワークがあった。熊大から行った 10 名でバスに乗って観光に行った。 授業だけでなく、フィールドワークも充実していて毎日楽しい生活を送れた。
留学先大学でのサポート体制について（語学面／学校生活／住居・日常生活等）	英語力に自信が無くても、語学面での心配はあまりないと思った。授業もみんなが理解できるレベルだった。 現地の大学生との交流時間がほとんど無かったため、昼休み等の時間を有効活用して現地の友達を作った。 ホームステイで問題があった場合、マッセー大学の先生に相談すればホームステイ先の変更も検討してもらえる。
留学開始後に行った留学先大学の手続き（学生証、履修登録、大学 ID の設定等）	授業初日に学生番号と一緒にバスカードをもらった。バスカードを使えばバスは無料で使えた。履修登録は無かった。大学の Wi-Fi の接続ができず、自分のデータを使っていた。

休日や余暇の過ごし方 (観光、現地学生との交流等) ※どうやって探したか、きっかけなども具体的に	休日は、プログラムで 1 日だけ熊大のみんなで首都ウェリントンへ観光に行った。その他の休日はそれぞれホストファミリーと過ごした。ホストファミリーに日本食を作ってあげた人が多かった。平日は毎日午後 3 時に授業が終わるので、毎日バスで街まで行ってカフェに行ったりお土産を買ったりした。現地の大学生と仲良くなって出かけることもあった。 パーマストンノースにはカフェが沢山あり、朝からも営業している所があるため、早起きしてカフェで朝食を食べて学校に行くこともあった。
---	--

4. 留学成果とアドバイス

留学によって得られた成果（語学に関すること、ものの考え方や取り組み方、コミュニケーション能力など自由に記載してください）
このプログラムでは、英語の学習だけでなくニュージーランドとマオリの文化についても知ることが出来てとても良い経験になった。私が特に印象に残っているのは小学校へ文化交流に行ったことである。ニュージーランドでは、生徒の自由がとても尊重されていると感じた。授業中に生徒が自由に発言したり行動したりすることができ、それを先生が見守っている感じが、日本とは違っていいなと思った。実際に私たちの英語の授業でも、間違えた答えを言っても恥ずかしくないような雰囲気が日本とは違って、授業を通して自信が持てた。また、小学校でビデオを見ながら自分の心を見つめるという時間があり、個性を大事にして育つところがとても良いと感じた。他の人に合わせようとする人が多い日本では知ることが出来ない授業スタイルを学べて本当に良い経験になった。これから私も周りに流されるのではなく、自分の意思を強く持って生きていこうと思った。
同じプログラムへ参加を希望する人へのアドバイス（留学先大学、プログラムに関すること、生活全般に関する事など自由に記載してください）
私はせっかく留学に行くなら、自分から沢山話しかけようと心に決めて留学に行きました。実際、現地の留学生と交流する時間がほとんど無かったため、自分から話しかけないと友達が作れなかったのも、みんな話しかけようと頑張っていました。英語が下手でも伝えようという意思があれば、聞く人は聞き取ろうとしてくれるので、現地で友達を作りたいと思う人は恥ずかしがらずに自分から声をかけることが大事だと思います。 ホストファミリーに日本食を作ってあげると、とても喜ばれました。日本のカレーとお好み焼きは特に好評でした。材料は現地でも購入できます。

留学を通しての感想

留学を通して自分に自信がついた。留学前は自分の英語力でやっていけるのか、知らない人の家で3週間も過ごせるのかなどの不安が大きかったが、思っていたよりも簡単で、不安よりも楽しさの方が大きかった。現地の人に優しくしてもらったおかげなので、これからは自分も日本にて困っている外国人に優しくしようと思った。また、これから英語の勉強だけでなく、他の言語の勉強も頑張ろうと思った。

ニュージーランドは海外から移住してきた人も多く、様々な人種の人が住んでいるため、沢山の文化を知ることが出来た。私は海外で生活したいと思っていたが、自信が無かったため、そのような様々な国から来た人々と話をするのはとても良い経験となった。自分より若くて海外の大学で生活している人もいて、本当に凄いと思ったし、自分も頑張ろうと思った。やりたいという気持ちと、行動力があればなんでも出来るんだと感じた。

今回の留学で出会った人みんなに感謝の気持ちでいっぱいなので、これから連絡を取って自分の成長した姿を見せれるように努力していきたい。

熊本大学海外派遣留学生 報告書

(協定校サマープログラム／語学セミナー)

氏名	H さん		
所属	_____ 文 _____ 学部・大学院 _____ 歴史 _____ 学科・専攻		
留学先機関名	マッセー大学 (国名: ニュージーランド)		
参加プログラム 区分	☐ 協定校サマープログラム ☒ 語学セミナー ☐ その他:		
留学期間	2023 年 3 月 3 日 - 2023 年 3 月 25 日	留学開始 時学年	_____ 3 年次
奨学金 (奨学金を受給 した場合)	☐ 奨学金受給無し ☒ JASSO 海外留学支援制度 ☐ トビタテ! 留学 JAPAN 【第 _____ 期】 ☐ その他 ()		



1. 出発前の準備について

ビザの申請	☐ 有 ☐ 無 種類 ()	ビザ申請先	☐ 国内 ☐ 現地 場所 (ニュージーランド)
留学に向けて 取り組んだ語学	☐ 英語 ☐ 独語 ☐ 仏語 ☐ 中国語 ☐ 韓国語 ☐ その他 (語)		
勉強方法	洋画を観る、単語帳を確認する		
必要経費 (留学に必要な 支払い費用) ※概算費用 (おおよ その費用)	☐ プログラム費用 約 26.4 万円 ☐ 宿泊費用 (寮／ホームステイ等) 約 7.5 万円 ☐ ビザ申請 約 4 千円 (NZeTA) ☐ 渡航費 (□片道 □往復) 約 21 万円 ☐ 海外旅行保険料 約 9 千円 ☐ 食費 約 2 万円 ☐ その他 () 円		

2. 渡航～到着後の生活について

利用航空会社	ANA/ANZ	手配	ツアーバンク ※利用したサイト、旅行会社等
移動経路 ※往路のみ	福岡⇒羽田⇒成田 ⇒オークランド⇒パーマ ストノース	到着 時刻	2023/3/4/2pm 【※移動時間 (約 14 時間)】
大学 (寮) への 移動手段	☐ 大学手配の出迎え ☐ 知人の出迎え ☐ タクシー ☐ 公共交通機関 (□バス □電車) □その他 ()		
空港から移動する 際の注意点 行き方、料金等	基本的にホストファミリーが迎えに来てくださいます		
宿泊先	☐ 寮 ☐ ホームステイ その他 ()	宿泊 手配	☐ 大学の斡旋 ☐ 自分で その他 ()
部屋の種類	☐ 一人部屋 ☐ 二人部屋 その他 ()	ル ー ム メ イ ト	☐ 日本人学生 ☐ 他国からの学生 その他 ()
その他生活に必要な 手続き、アドバイス (口座開設、保険、 携帯電話、荷物、 支払い方法など)	・ 海外で携帯電話を利用するためのSIMカードの手続きは早めに済ませておいた方がいいと思います。 ・ 洗濯やお風呂の頻度やルールが日本と異なるホームステイ先が多いため、それを踏まえて荷造りを行った方がいいかもしれません。		

3. 留学先の大学について

プログラムの概要について（授業・フィールドワーク内容、スケジュール等）	英語の授業（フォームアップゲーム、練習問題、文法などを活用したゲーム） 英単語学習や会話の練習を兼ねたフィールドワーク 他のホストファミリーや学生同士の交流パーティー 小学生との交流 プレゼンテーション発表（最終日） など
留学先大学でのサポート体制について（語学面／学校生活／住居・日常生活等）	英語によるコミュニケーションを図ることが可能な機会が多く、語学力の向上につながった。授業では、日常会話で活用できるフレーズを習うことや発言する機会が多いことなどを通して、英語を主体的に使用できる環境が整っていた。大学設備（図書館、カフェテリア、体育館、運動場など）も整っており、大学生活が豊かになる工夫がされていた。
留学開始後に行った留学先大学の手続き（学生証、履修登録、大学 ID の設定等）	留学先大学への登録申請、事前テストの受験
休日や余暇の過ごし方（観光、現地学生との交流等） ※どうやって探したか、きっかけなども具体的に	・ 中心街での買い物 ⇒ 中心街にバスターミナルがあるため、大学の授業終わりにセミナー参加者同士で一緒に行っていた ・ 観光（風車の丘、博物館、バラ園など） ・ 教会に行く、ホストファミリーの友人宅に行く ⇒ ホストファミリーと一緒にいった ・ セミナー参加者同士で食事 ⇒ 休み時間の話やホストファミリーとの会話の中で予定が決まった

4. 留学成果とアドバイス

留学によって得られた成果（語学に関すること、ものの考え方や取り組み方、コミュニケーション能力など自由に記載してください）

今回の留学を通して、英語によるコミュニケーション能力の向上や異文化への理解など、様々な観点において貴重な経験を得られた。日本で生活している際にはあまり意識していなかったことであるが、英語による会話の中でコミュニケーションは単に言葉を発しているだけではないことに気づいた。つまり、その時々表情、相槌や身振りなども交えながらコミュニケーションを取っていたのである。それらのことは、ホストファミリー、現地の仲良くなった学生や先生方たちとの日常の会話でも行っていたが、最後の授業でプレゼンテーションを発表した際に顕著であった。

また、日本とニュージーランドにおける文化の共通点と相違点についても理解が深まった。例えば、道路の左側通行がイギリスの影響を受けていることは共通する。一方で、お風呂・洗濯の頻度やタトゥーを入れている人の割合など、日本とはかなり異なっていることも発見でき、文化の多様性と複合性を学んだ。

同じプログラムへ参加を希望する人へのアドバイス（留学先大学、プログラムに関すること、生活全般に関することなど自由に記載してください）

今回の留学を経験して、日本でもできることと留学先ではできないことを意識することが重要ではないかと考える。具体的には、留学先では参考書等にばかり向き合うのではなく、ホストファミリー、現地の大学生や大学スタッフの方々との会話を積極的に行うことの方が留学の意義を実感できた。また、日本とは異なるアクティビティ、観光地、食文化、価値観など様々な「違い」を見つけて、新たな世界を広げていくことが自分を人間として成長させることにつながるだろう。加えて、他人に頼り過ぎないことが重要である。語学セミナーなどのプログラムでは協調性が求められることや手続きなどの一人では難しい作業もあるものの、それ以外の活動や自由時間などは自主性を発揮することで自分に対する自信にもつながる。1人で買い物をしたり、現地の大学生と仲良くなって食事をしたりと具体的な内容は千差万別であるが、留学の目的を確かめながら、自分に限界をつくらず、行動することをおすすめする。今回の経験を通して、初めての世界でも「何とかなる」ことを再認識した。

留学を通しての感想

はじめての海外留学であったが、お金には変えることのできない多くの貴重な経験や思い出を得ることができ、語学セミナーに参加して良かった。3週間の短い期間であったものの、ほとんど毎日新たな発見があり、一日一日が早く過ぎていく感覚があった。その中で、日本とニュージーランドそれぞれの良さや強みが見られ、異文化に触れることの面白さを感じたり、意欲がさらに湧いたりした。異文化に触れることで新たな疑問が生まれ、その背景などについて考えたり、話し合ったりすることを大切にしたいと強く実感した。その中で今までの固定観念が壊され、より柔軟な思考力や発想力の醸成につながるのではないかと考える。

言語能力を向上させることは、自分の世界を広げることだと考える。ホストファミリーにも言われたことであるが、日本に帰っても意識的に洋画を鑑賞することや留学生と仲良くなるなどの機会を作ることによって英語でのコミュニケーション継続的に続けていきたい。さらに、より長期の留学や旅行などを通して、海外に行く機会を積極的に作りたい。

熊本大学海外派遣留学生 報告書

(協定校サマープログラム／語学セミナー)

氏名	I さん		
所属	文 学部・大学院 コミュニケーション情報 学科・専攻		
留学先機関名	マッセー大学 (国名：ニュージーランド)		
参加プログラム 区分	☐ 協定校サマープログラム ☒ 語学セミナー ☐ その他：		
留学期間	2023 年 3 月 4 日－2023 年 3 月 24 日	留学開始 時学年	4 年次
奨学金 (奨学金を受給 した場合)	☐ 奨学金受給無し ☒ JASSO 海外留学支援制度 ☐ 国際奨学事業 ☐ トビタテ！留学 JAPAN 【第 期】 ☐ その他 ()		



1. 出発前の準備について

ビザの申請	◆ 有 種 (NZeta) □ 無 類 ()	ビザ申請先	□ 国内 場所 () □ 現地 ()
留学に向けて 取り組んだ語学	◆ 英語 □ 独語 □ 仏語 □ 中国語 □ 韓国語 □ その他 (語)		
勉強方法	大学で昼休みに開催されている TALKmon に参加していました。		
必要経費 (留学に必要な 支払い費用) ※概算費用 (おおよ その費用)	☐ プログラム費用 420000 円 ☐ ビザ申請 1000 円 ☐ 食費 10000 円		

2. 渡航～到着後の生活について

利用航空会社	ニュージーランド航空	手配	※利用したサイト、旅行会社等
移動経路 ※往路のみ		到着 時刻	14 : 00 【※移動時間（約 15 時間）】
大学（寮）への 移動手段	☐ 大学手配の出迎え ☐ 知人の出迎え ☐ タクシー ☐ 公共交通機関（◆バス ☐ 電車） ☐ その他（ ）		
空港から移動する 際の注意点 行き方、料金等	ホストファミリーが送迎してくれました。		
宿泊先	☐ 寮 ◆ホームステイ その他（ ）	宿泊 手配	◆大学の斡旋 ☐ 自分で その他（ ）
部屋の種類	◆一人部屋 ☐ 二人部屋 その他（ ）	ルーム メイト	☐ 日本人学生 ☐ 他国からの学生 その他（ ）

その他生活に必要な手続き、アドバイス（口座開設、保険、携帯電話、荷物、支払い方法など）	携帯電話は、オークランド空港でSIMカードを購入しました。2ギガで3000円くらいですが、大学のWi-Fiがあまり良くないので、10ギガ（5000円くらい）でも良いと思います。
--	---

3. 留学先の大学について

プログラムの概要について（授業・フィールドワーク内容、スケジュール等）	9:00-12:00に文法の授業、13:00-15:00にプレゼンテーションの授業があります。週に1・2回午後からゴルフやビーチに出かけるアクティビティがありました。 土日は基本的に何もありませんが、時々ウェリントンに旅行したりするアクティビティがありました。
留学先大学でのサポート体制について（語学面／学校生活／住居・日常生活等）	大学のサポートはとても充実していたと思います。バスカードなどを用意してくれていたり、頻繁にホストファミリーと連絡とっていたりしてくださっていました。
留学開始後に行った留学先大学の手続き（学生証、履修登録、大学IDの設定等）	大学が行ってくれていました。

休日や余暇の過ごし方 (観光、現地学生との交流等) ※どうやって探したか、きっかけなども具体的に	休日はホストファミリーと観光地に出かけていました。そこまで都会ではない町だったので、特に観光地を探すことはなく、学校帰りに街に行って遊んでいました。
---	---

4. 留学成果とアドバイス

留学によって得られた成果（語学に関すること、ものの考え方や取り組み方、コミュニケーション能力など自由に記載してください）
三週間だったので、語学力が飛躍的に向上することはありませんでしたが、自分のホストファミリーだけではなく、友人のホストファミリーともつながりを作れたことはとても良かったと思います。 短い期間だったので、極力ホストファミリーと一緒に過ごすことを大切にして、夕食と一緒に食べたり食後に話をしたりして過ごしました。伝えたいことを伝える事はできたと思います。
同じプログラムへ参加を希望する人へのアドバイス（留学先大学、プログラムに関すること、生活全般に関することなど自由に記載してください）
ニュージーランドの人はカレーがとても好きみたいなので、カレーの作り方を覚えていくと良いと思います。気候は、一日の中で5度～20度くらいまで変化して、朝はジャンパーが必要なのに昼は半そでで良いこともありました。上から羽織れるものを持っていくと良いと思います。 平日は基本的に学校なので遠出はできませんが、土日は空いていることも多いので、ホストファミリーに事前に予定を確認して置いたり、予定がなければ観光地に行く計画を立てておくにより充実した留学生活が送れると思います。

留学を通しての感想

留学を通して、ホストファミリーや友人と出会えたことは一番良かったことだと思っています。ニュージーランドの人はとても親切で、優しい人たちばかりでした。多少英語ができなくてもくみ取ってくれますし、気候や都会感が熊本と似ているので、とても過ごしやすい国だと思います。好きな食べ物などを聴かれたときに答えた食べ物が毎日昼ごはんに出てきて驚きましたが、好きな物や嫌いな物、その限度は初めに話しておくべきだと思いました。

途中でウェリントンに行く機会がありますが、時間がとても限られているので、どこに行きたいかホストファミリーに相談するなどして決めておけばよかったと感じています。